

単純なバージョンアップに
コストをかけすぎていませんか？

Windows Server 2012 / 2012 R2 サポート終了対策ガイド



株式会社ファナティック

はじめに

この度は株式会社ファナティックのWEBサイトより本資料をダウンロードしていただきありがとうございます。

2023年10月に Windows Server 2012/2012 R2 のサポートが終了します。

過去を振り返ってみると、3年から5年おきにサーバーOSのサポートが終了し、それにあわせてシステム全体を更新することがなかば常識化していました。

しかしながら、将来の予測が難しい時代において、ITの投資対象をより厳しく選別する時代になりました。

更新の目的が、単純なOSのバージョンアップだとすると、そのために多額の投資をするべきなのか？
おそらく多くの経営者は「No!」と答えるはずで。

一方、業務革新や新ビジネス創出を目的としたいいわゆるDXへの取り組みを求められますが、その理想像を明らかにする意見交換と合意形成には時間が必要で、OSサポート終了とは異なる次元で検討をすべきです。

迫りくるOSサポート終了期限やハードウェア保守満了に怯えるIT部門は、どのように経営者を説得するか、頭を悩ましているのではないのでしょうか。

本資料は、Windows Server 2012/2012 R2 のサポート終了が近づく中で、最善なシステム更新方法について悩まれているお客様のご不安やご要望に少しでもお応えするために作成しました。
ここに掲載されていない情報や、お客様システム固有のご質問などございましたら、巻末のお問い合わせ先までお気軽にお申し付けください。

なお、本資料は「ファナティック ハード入替サービス」のご導入を検討されている企業様もしくは、エンドユーザー様へご提案を検討されているシステム会社様向けにご用意しております。

事業部長の齊藤と申します。
ご興味を持っていただきありがとうございます。

基幹システムの維持に課題をお持ちの企業様へ
多くの提案機会をいただいております。

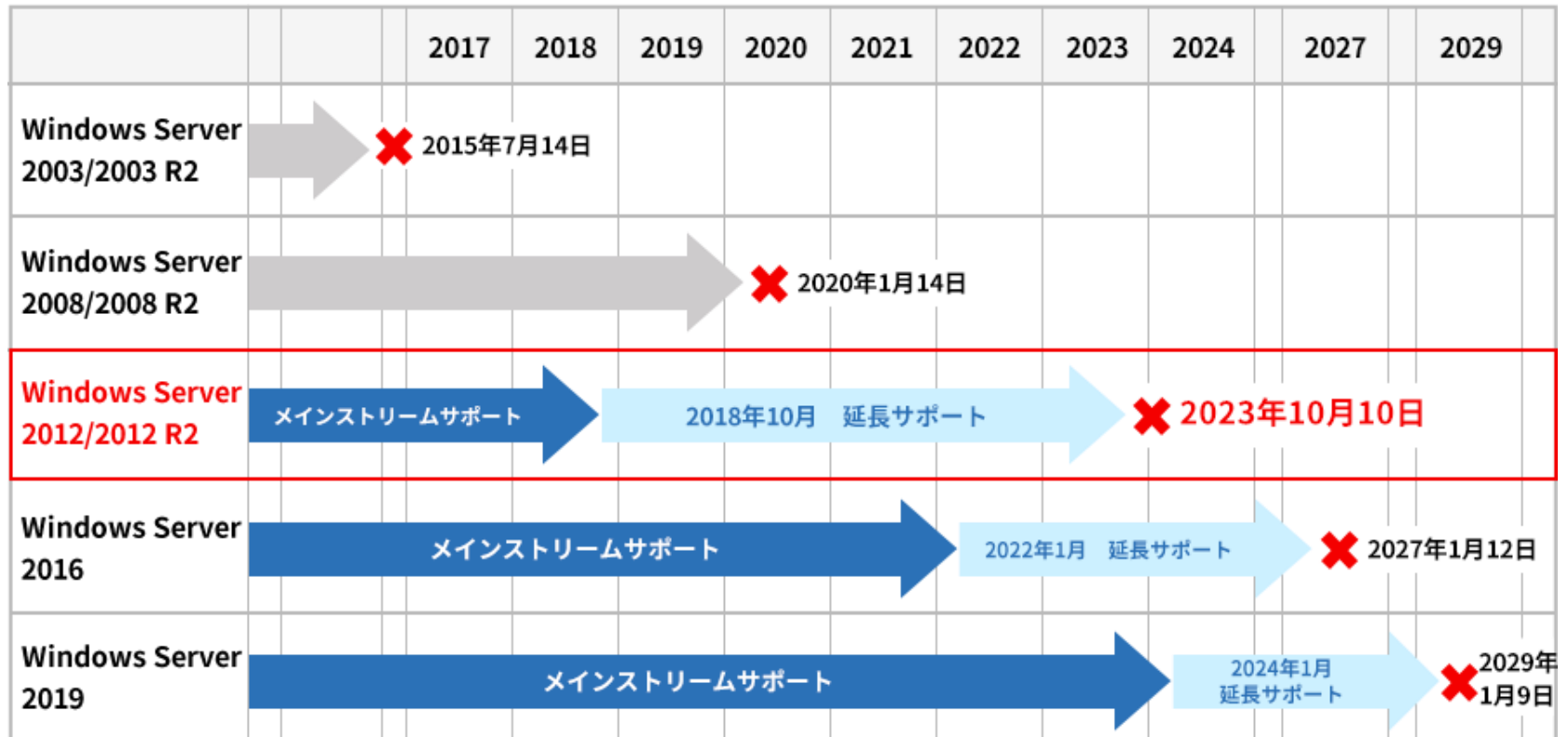
どうぞお気軽にお声がけください！



間もなくWS2012のサポートが終了します

Windows Server 2012/2012 R2は 2023年10月10日にサポートが終了します。

サポートが終了すると、新たな脆弱性に対応するセキュリティ更新プログラムや修正プログラムがマイクロソフト社から提供されなくなります。



サポート切れによる問題は？

サポートが終了することで、マイクロソフトからセキュリティプログラムが提供されなくなるため、「新たに発覚した不具合」や「新たに発見された脆弱性」への対応が行われなくなり、セキュリティのリスクが増大します。



セキュリティリスクを回避するには、最新版へのバージョンアップが望ましいことに間違いはありませんが、これにかかる費用や手間もかかることに加えて、アプリケーションの改修が必要になることもあります。

バージョンアップが理想だが、
現実には多くの課題が...

理想

Windows Server 2019

バージョンアップ

Windows Server 2012

現実



高額な費用は
かけられない



業務が多忙で
対応する余裕がない



刷新の効果が
期待できない

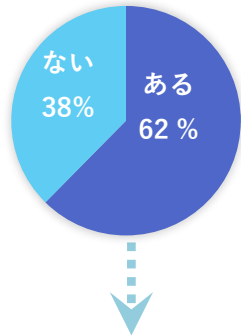
ユーザーの声はどんなの？

ユーザー企業では実際にどのようにとらえているのでしょうか？

118社から回答いただいたアンケートの結果から、バージョンアップを「しない」理由が明らかになりました。

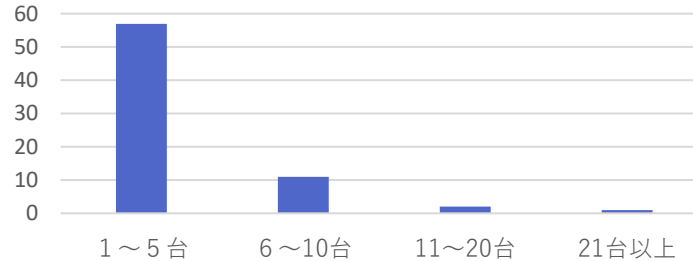
【Q1】

Windows Server 2012/2012 R2を使っている業務システムはありますか。



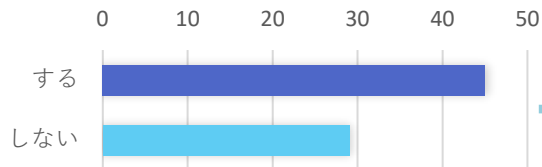
【Q7】

Q1でWindows Server 2012/2012 R2を利用した業務システムが「ある」とお答えの方にお聞きします。そのシステムのオンプレミス（仮想サーバーを含む、クラウドは除く）のサーバー装置は何台稼働していますか。



【Q3】

Q1でWindows Server 2012/2012 R2を使っている業務システムが「ある」とお答えの方にお聞きします。OSをバージョンアップしますか。

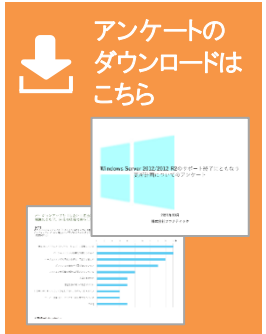


バージョンアップを「する」理由上位

1. セキュリティ上の不安がある
2. サーバー装置（ハードウェア）の保守が切れる、または老朽化してきた
3. 更新プログラムが提供されず不具合に対応できなくなる

バージョンアップを「しない」理由上位

1. 現在のソフトウェア（アプリケーション）に満足している
2. バージョンアップの必要性が感じられない
3. バージョンアップの見積が高額で、予算化が難しい



出典:Windows Server 2012/2012 R2のサポート終了にともな更新計画についてのアンケート
(2021年10月 株式会社ファンタティック)

バージョンアップも『選択と集中』の時代

経験則に従えば、メーカーが推奨するバージョンアップを行うのが当たり前ですが、前頁のアンケート調査からは、もはやそのような既成概念にとらわれた画一的な思考ではなく、各企業が個々のシステムに対する投資に濃淡をつけ、適材適所の判断を行っていることが垣間見えました。

IT投資においてはDXなど特定の分野に経営資源を集中させ、経費側のITシステムには極力コストをかけない、いわゆる『選択と集中』が進んでいます。

アンケート調査では、従業員数についてもお尋ねしていますが、企業規模による方針や取り組みの違いはありません。企業を取り巻く環境が激変するなか、これまで受け入れてきた慣例を別の視点から見直すとともに、システム刷新の方式にさまざまな選択肢を持つことが、今後ますます重要になっていくのではないのでしょうか。

全文はWEBサイト (<https://www.fanatic.co.jp/p2p/column/161/>) に掲載しております。

● 投資対象の二極化が進む

すべてのシステムを最新にする必要はない

守り



従来型のITシステム

停止が許されない基幹システム
バックオフィス系

長寿命(10年単位)

経営資源の効率化

経費側のシステム

投資側のシステム

トライ&エラーで開発が進む
デジタルIT系

短寿命(数年)

新たな価値を生み出す



攻め

デジタル戦略型の
ITシステム

目的に応じた濃淡ある投資がカギ

経費側に分類された「守り」のシステムには、なるべくコストはかけたくありません。

しかしいまの基幹システムを安心して維持するための悩みはつきません。



最新OSへアップグレードしても
業務効率は変わらない



OSが変わるだけなのに、
相当なコストがかかる



本当はゼロベースで見直したいのに時間と予算がとれない



なぜメーカー側の都合で
投資が必要になるのか



仮想化しても
バージョンアップが必要になる



ハードの老朽化が心配
ソフトのサポートが心配

その課題に

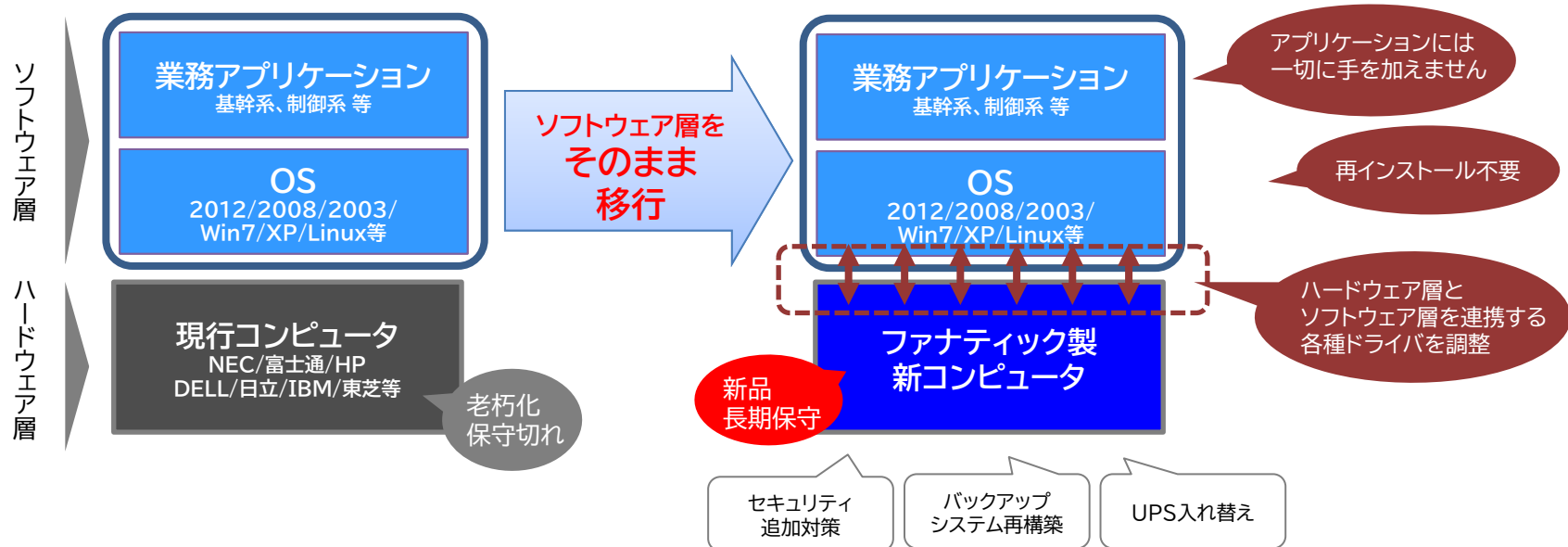
『ファナティック ハード入替サービス』が解決します！

ファナティック ハード入替サービス (P2P型)

P2P型(*1)とは、老朽化した物理コンピュータをファナティック製の新しい物理コンピュータへシステム全体を丸ごと移行する手法です。ソフトウェアは何も変えずに使い続けるため更新コストを最小限に抑えられます。

- ✓ 仮想技術は使わないP2P型なので、業務システムの動作全般にまったく影響がありません
 - ◆ 運用後も本移行作業を起因とするトラブル・不具合は一切発生しておりません
- ✓ シンプルな移行手法でシステム管理者の負担が少なく、かつ短期間、低コストで移行が完了します
 - ◆ アプリケーションには一切手を入れませので、システムの保守性に影響はありません
 - ◆ 使い勝手は一切変わることがなく安心して維持できます
- ✓ 専門の技術者が移行後も長期に渡ってサポートします
- ✓ バックアップシステム、セキュリティ対策など豊富なオプションもご用意

(*1) P2P(Physical to Physical)、物理コンピュータから物理コンピュータへ移行する手法

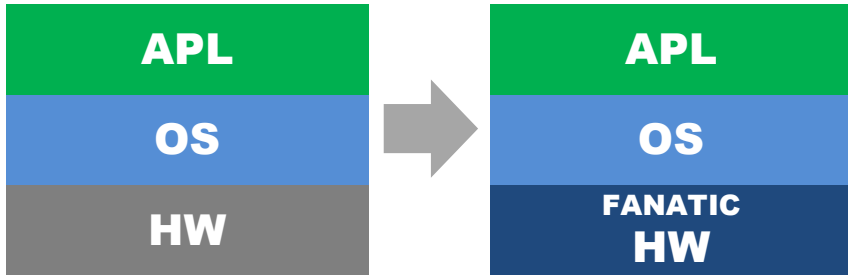


御社システムにあわせた移行方式を選択可能

ファナティック ハード入替サービスは、物理環境だけでなく仮想・クラウド環境との間の移行も対応可能です。複数の業務システムを仮想化して統合したいといったニーズ、仮想基盤上の一部の業務システムのみ物理サーバーへ移行したいといったニーズなど、さまざまなご要望にお応えすることができます。

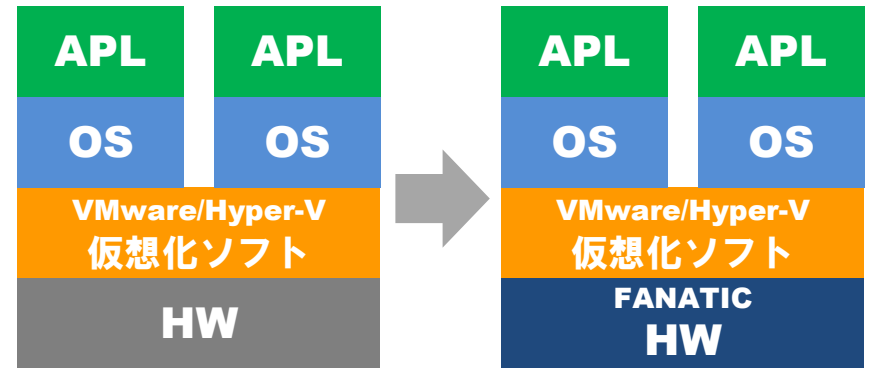
P2P (Physical to Physical)

物理環境から物理環境へ移行



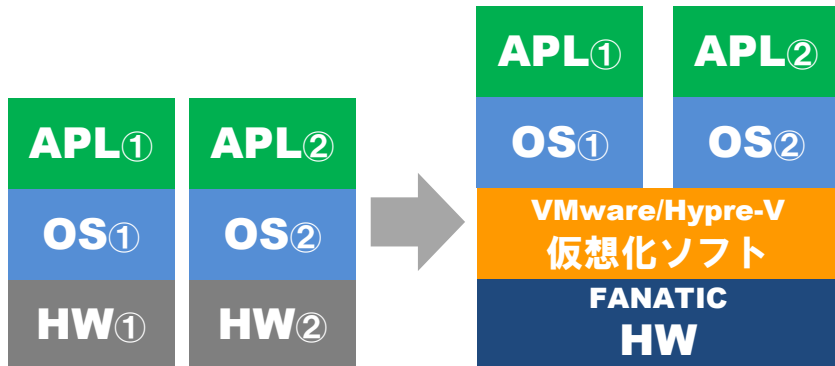
V2V (Virtual to Virtual)

仮想環境から仮想環境へ移行



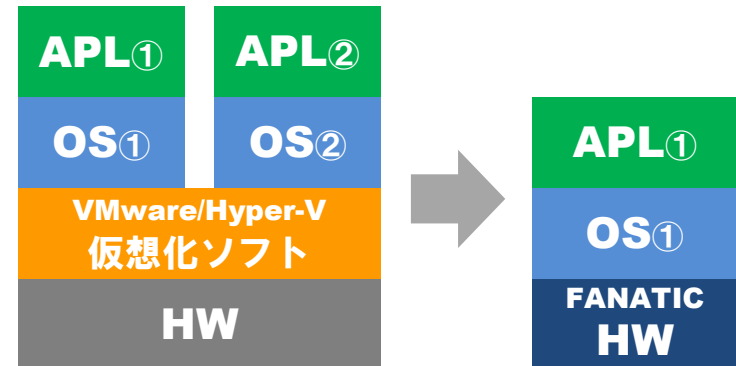
P2V (Physical to Virtual)

物理環境から仮想環境へ移行 (複数台を集約)



V2P (Virtual to Physical)

仮想環境から対象システムのみ物理環境へ移行



WS2012稼働モデルを継続販売中！

ラックマウント型 2012稼働モデル



タワー型 2012稼働モデル



【主な性能(一例)】

CPU: Intel Xeon Silver 4110 8C/16T 2.1GHz (最大2)

メモリ: 128GB DDR4 ECC (最大2TB)

ストレージ: SSD 480GB SATA 6Gb/s TLC 3DWPD x3 (最大8スロット)

ハードウェアRAID: RAID1/5/6/10/50/60、HotSpare対応 (CacheVault有り)

G-LAN: 標準2 (増設可)

管理ポート: IPMI

USB/シリアル: 複数あり

電源: 冗長/シングル

保証: 最長5年間オンサイト保守 (平日9-17時/24時間365日対応、全国対応)

●選べるスペック

上記スペックは一例です。

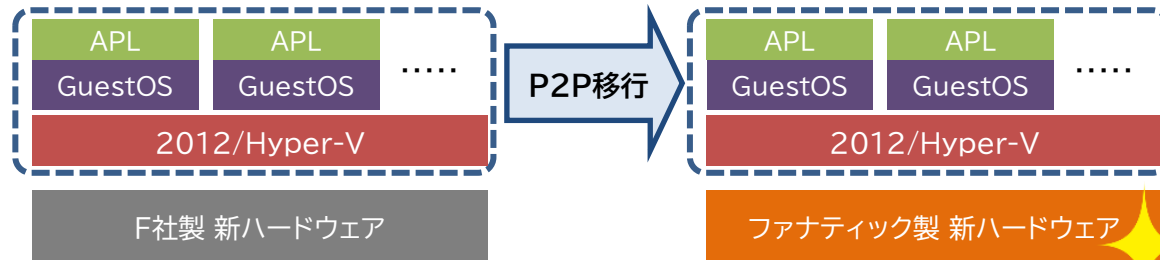
CPU、メモリ容量、ストレージ容量、RAIDレベルなど、必要なスペックを装備可能です。

お客様事例（化学・素材メーカー T社様）

- 対象業務: 基幹業務システム(会計・販売・原価・在庫・経費)
- システム: Windows Server 2012 R2 / Hyper-V / 計12VM

■課題:
ハードウェアの保守満了とOSのサポート終了をまもなく迎えることから、既存ベンダーから最新ハード・最新OSへ全面刷新する提案を受けていた。しかし最新OSへ対応させたためのプログラム修正コストが重く、予想を超える見積もり額となり、業務改善効果も見込めない中、他の手法が無いかを探していた。

■手法:
「ファナティック ハード入替サービス(P2P型)」で 新品ハードウェアへリプレース



- 効果:
- ・いまのソフトを何も変えることなくハード保守切れ・老朽化リスクへ対応できた
 - ・以前のサーバスペックより容量・パフォーマンスが格段に向上して、安心して運用できている
 - ・現システムの保守工数が格段に減り、次期システム検討を進める時間が確保できた

基幹システムのホストサーバリプレイス作業をノーミスで完遂していただき、大変感謝しております。ユーザ部門からも新サーバに変わったことで、処理時間が相当短縮されて助かっているという声ももらっています。(例:1時間40分→13分)

実際のお客様の声



さらなる安心・安全に向けて

■セキュリティ対策

ホワイト
リスト型で
強力な保護



パターン
ファイル不要で
システム負荷が
軽い



簡単導入
しかも
**運用負荷が
低い**



安価かつ
サポートも◎
コスト◎



トレンドマイクロ「ホワイトリスト型(ロックダウン型)
セキュリティ対策ソフト」でがっちり守ります

パターンファイル不要なので長期利用に最適です



Securing Your Journey
to the Cloud

■バックアップシステム再構築

システム全体を 確実に！完全に！丸ごとバックアップします
スケジュール実行でらくらく運用！世代管理も可能
選べるバックアップメディア
5年サポート可能

Acronis

安心！丸ごとバックアップ！

外付けUSB-
HDD装置



NAS装置



クラウド



■UPS入れ替え

レガシーOSに対応したUPS連動ソフト標準添付
切り替え時間ゼロの常時インバータ給電方式がお勧め！
停電、瞬断などの電源リスクからレガシーシステムを守ります
標準3年、最長7年サポート可能

停電の多い場所に有効です！



OMRON

安心！長期サポート

お問い合わせ先

ここまでお読みいただき、ありがとうございました。

『もう少し詳しく聞きたい』『具体的な相談をしたい』『おおよその価格が知りたい』
など、どんなことでもお気軽にお問い合わせください。

株式会社ファナティック

〒102-0076 東京都千代田区五番町1-11 五番町TMビル
(最寄り駅：JR市ヶ谷駅 徒歩1分)

担当：ソリューション事業本部 齊藤、妹尾（せのお）

E-mail. contact_us@fanatic.co.jp

Tel. 03-5212-1466

[専用フォームからの お問い合わせはこちら](#)

電話、メール、どちらでも結構です
Teams、Zoom等によるご説明も大歓迎です